

令和2年（2020年）度胆振管内観光入込客数の状況について

令和3年8月
北海道胆振総合振興局

【概要】

令和2年（2020年）度の観光入込客数は9,311.3千人で、前年度（16,179.7千人）と比べて6,868.4千人の減少（前年度比57.5%）となりました。

入込客数は、平成24年度以降堅調に伸びていました（胆振東部地震発災の平成30年度を除く）が、新型コロナウイルス感染症の影響により、統計が新方式になった平成22年度以降で最少となりました。

全国に国の緊急事態宣言が初めて発出された4月から入込客総数は大幅に減少し、5月は対前年度比で入込客総数が最も落ち込んだ月となりました。7月から開始された国の「Go To トラベル」や道の「どうみん割」のほか、管内自治体が独自に行ったキャンペーンにより、徐々に回復の兆しを見せましたが、11月から感染者数が大きく増加したことにより12～1月からこれらの事業は一時停止となったこと、1月から再び東京都などに国の緊急事態宣言が発出されたことなどにより、12～2月の入込客総数は対前年度比で大幅な減少となっています。3月は対前年度比で入込客総数が増加した唯一の月となりましたが、これは前年度の落ち込みが特に大きかったことのほか、2月末で6府県の緊急事態宣言が解除されたこと、道の集中対策期間が3月7日で終了したことなどによる旅行需要の増加が影響したものと考えられます。

上記のほか、1年を通して、各地のイベントがほとんど中止となったことも入込客数の減少の大きな要因と考えられます。

（道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は2,024.0千人（構成比21.7%）で前年度から3,622.2千人の減少（前年度比35.8%）、道内観光客は7,287.3千人（構成比78.3%）で前年度から3,246.2千人の減少（前年度比69.2%）となっています。（資料1）

（日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は8,079.2千人（構成比86.8%）で前年度から5,438.7千人の減少（前年度比59.8%）、宿泊客数は1,232.1千人（構成比13.2%）で前年度から1,429.7千人の減少（前年度比46.3%）となりました。

宿泊客延べ数は1,411.5千人泊で、前年度から1,476.5千人泊の減少（前年度比48.9%）となっています。

【資料1】令和2年（2020年）度胆振管内観光入込客数内訳

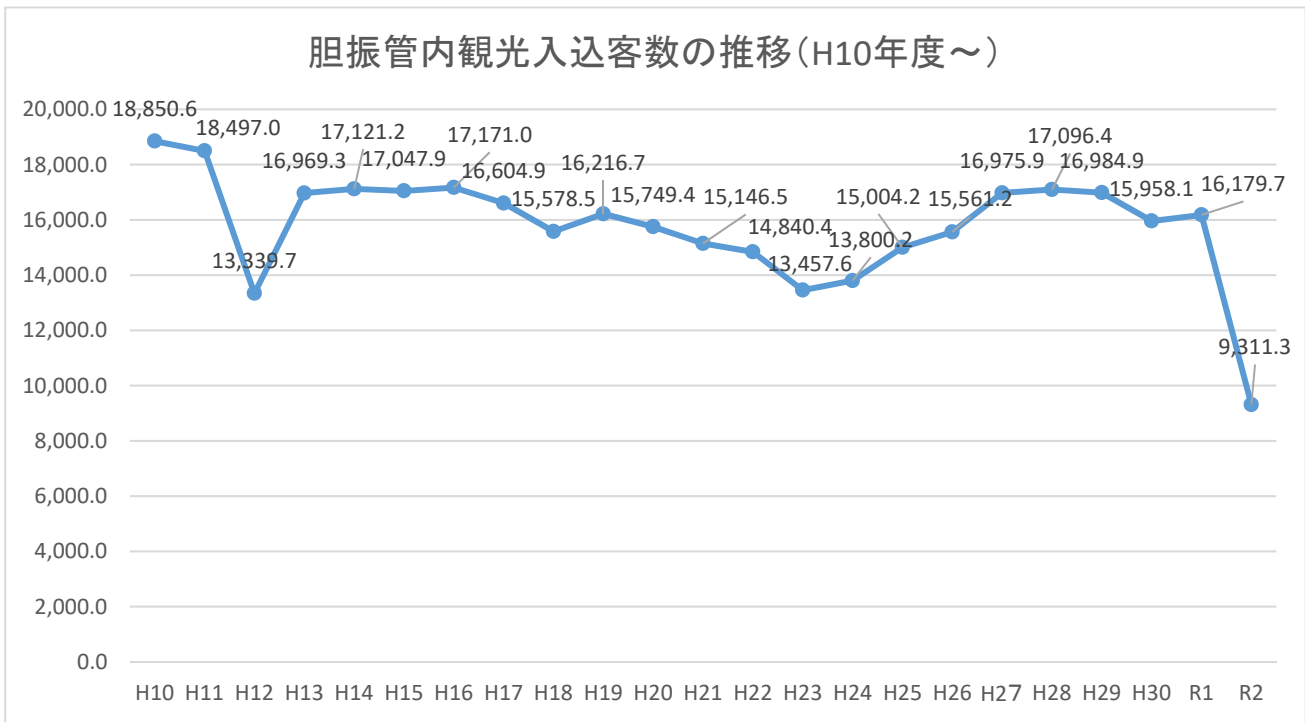
（単位：千人、千人泊）

区 分		令和2年（2020年）度観光入込客数		前年度比	前年度からの増減数
			構成比		
道内・道外別	道外客	2,024.0	21.7%	35.8%	▲3,622.2
	道内客	7,287.3	78.3%	69.2%	▲3,246.2
日帰り・宿泊別	日帰り客	8,079.2	86.8%	59.8%	▲5,438.7
	宿泊客	1,232.1	13.2%	46.3%	▲1,429.7
入込総数（千人）		9,311.3	100.0%	57.5%	▲6,868.4
宿泊客延べ数（千人泊）		1,411.5	—	48.9%	▲1,476.5

参考として、平成10年度からの観光入込客数の推移【参考資料1】と平成30年度からの3カ年における観光入込客数の月別の推移【参考資料2】を添付しています。

【参考資料1】胆振管内観光入込客数の推移 (H10年度～)

(単位：千人)



【参考資料2】胆振管内観光入込客数 月別の推移

(単位：千人)

